



洗面脱衣室まわりの上手な使い方～後編～

先月号に引き続き、洗面脱衣室まわりの収納法を紹介。お気に入りのケースやカゴを活用して、使い勝手の良い空間にしよう。



ポイント1 ケースをそろえて統一感アップ!

収納場所のサイズにあった大きさのケースを複数用意して、ラベルやマスキングテープなどを貼ってジャンルごとに配置すると統一感アップ。



◆高さが低い棚には、浅いカゴを配置。ドライヤーや風呂に入る道具をしまっておけば、入浴のたびにカゴごと脱衣所に持っていく。

ポイント2

透明ケースも便利!



透明ケースは中身が見えやすく、一目で収納しているものが把握できるメリットがある。小さめのケースを複数用意すれば、ハンカチやポケットティッシュ、靴下など、小物類をジャンル分けしやすくなる。

ポイント3 下段には動かせるキャスターを



◆下段には、比較的重さのあるものを配置することが多いため、掃除のことも考えるとキャスター付きのケースがおすすめ。

▶ キャスター付きのケースが見つからなくても大丈夫。100円ショップなどで、貼るだけの簡易キャスターも売っている。



ポイント4 上段は布カゴがおすすめ



上段は手を伸ばしてモノを取り出すことが多いため、やわらかくて軽い布製のカゴがおすすめ。ジャンル分けのシールが貼りにくいので、取っ手などにタグをつけよう。

vol.80
暮らしの工夫で驚くほど快適に!

暮らしの整理収納術

整理収納アドバイザー・住まい方アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。㈱佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。

